



虎の門中村康宏クリニック 中村康宏院長



米国における最先端の 予防医療をアジアに広げる

虎の門中村康宏クリニックは米国の最先端医療に根差した予防医療を提供。中村康宏院長は米国留学で得た知識を日々の診療に加え、医療関係者への啓蒙やアジアでの出張診療に活用、予防の重要性を広める。

「当院では患者さんの健康状態から人生観まで幅広く捉えながら、予防医学で一人一人の健康をトータルにサポートしています。米国の優れた医療を日本に普及させ、やがてはアジア全域に広げていきたいですね」

虎の門中村康宏クリニックを開業した中村康宏院長は語る。同院は東京・虎ノ門で予防医療や健康管理を軸に診療を行っている。診療内容は生活習慣病の予防、検査、治療から医療知識に基づくアンチエイジングやダイエット、運動のサポートまで幅広い。患者の年齢層は10代～70代で、会社員から経営者、芸能人までさまざまだ。

「ニキビに悩むアイドル歌手のために点滴治療を施し、シニア向けに認知症予防プログラムを提供するなど、診療内容は多岐にわたっています。患者さんの健康を管理する顧問ドクターとしての職務に努めています」

同院は自由診療が中心にもかかわらず、口コミを中心に順調に来院患者数を伸ばしている。完全予約制を敷き、1回の診察時間は平均1時間程度。症状だけではなく、

患者の価値観や信念、趣味嗜好までをヒアリングし、オーダーメイドの医療サービスに落とし込む姿勢が好評を博している。現在ではクリニックの運営に加え、スマートフォンなどを活用したオンライン診療や、知人のつてを元にカンボジアの富裕層を対象とした出張診療を開始している。

「アジア全域に予防医療を全力で広めたい」とする中村院長も、当初は医師を目指す意欲がそれほど高くなかったという。両親、祖父のいずれも公務員で、医療業界とは無縁だった少年時代。しかし、中高生時代に受験勉強のコツをつかみ学力が著しく向上すると、医学部受験が視野に入るように。2006年に関西医科大学へ入学、在学中にマレーシアへ留学して現地病院のレベルの高さを目の当たりにする。

大学卒業後には国家公務員共済組合連合会 虎の門病院に入職、海外の医師免許を持つ意識の高い医師らに刺激を受けつつ、命を落とす患者の姿を見て予防医療の重要性を痛感。当直のアルバイトで得た資金を不動産へ投資し、そこ

で得た収益を元手に最先端医療を学ぶため、16年に渡米する。ニューヨーク大学などで予防医学から行動科学や健康教育といった周辺分野までくまなく学びながら公衆衛生学修士号を修得し、パーソナルトレーナーや栄養士の資格も取得。帰国後の今年6月にクリニックを開業した。

「米国では患者さんの健康寿命を伸ばすために食事、睡眠、運動などで行動の変化を促すライフスタイル医学を学びました。現地ではハーバード大学のカリキュラムに組み込まれており、効果が実証されています。私が日々の診療で実践しながら啓蒙に努めています」

中村院長は今年8月、若手医師向けにライフスタイル医学に関する講演を都内で実施した。10月にも虎ノ門で同様の講演会を開催、関連学会の発足を視野に入れる。

「優れたノウハウを広げるために、最初はいま行くかなくてもとにかく継続することが大事です。たった一度の人生。最大限の力を出し尽くす気構えで自分の役割を果たしていきたいです」

<https://tnyc.tokyo/>